

清央小だより



令和7年度 第34号
2026. 2. 6

HP > <https://www.ueis.ed.jp/school/kiyohara-c/>

教 育 目 標	「夢いっぱい 友だちいっぱい 清央小」
	・自ら学び工夫する子ども (考える)
	・元気でがんばる子ども (鍛える)
	・礼儀正しく思いやりのある子ども (思いやる)

※ 本文は、ユニバーサルデザインのフォントを使用しています。

※ 学校の様子はホームページにも掲載しています。その際は、画像を一部加工することがあります。ぜひご覧ください。

学習内容定着度調査（6年生）・学習と生活についてのアンケート

毎年12月に宇都宮市で行っている「学習内容定着度調査」（6年生対象）と「学習と生活についてのアンケート」の結果が出ました。

「学習内容定着度調査」は、国語、算数、理科、社会の4教科を実施しました。

今年度の結果は、ほぼ市の平均を超える結果でした。社会や理科はよくできていましたが、算数が少し市の平均を下回りました。結果はお子さまに先日配付しましたので、間違えた問題をもう一度解くなどして、中学校に向けて備えて欲しいと思います。

「学習と生活のアンケート」は、全学年で実施しました。

こちらは、学習の状況や学校や家庭の生活状況についてのアンケートです。今後、分析などが行われ、ホームページでの公開となります。

この中で、少々気になったデータは、「1日にどれくらいスマートフォンや携帯電話で電話やゲームをしたり、動画やインターネットのサイトを見たり、SNSを利用したりしていまか。」という質問の回答です。スマートフォン等を持っている児童のうち、5年生の約3割、6年生の約4割は平日で2時間以上使用しているということです。6年生は4人に1人は3時間以上（土日はそれぞれ+10%）という結果が出ています。夜遅く（23時以降）まで使っている児童は少ないものの、ゼロではありません。そして、どのように使っているか家の人に全くチェックされていないと回答した児童は、5、6年生とも約25%いました。高学年を例にしましたが、どの学年も同じような傾向にあります。

近年、ヨーロッパを中心に青少年のSNS使用を禁止とする国の法案ができています。この動きは、青少年の心身の発達にとって「有害」とみなされているからです。ネット依存症やゲーム障害は、WHOでも病気と認められることからも、そうした病気にならないよう、国として子供たちを守るということなのでしょう。

すでに身の回りにあるスマートフォンを使うなとは言えませんが、その使い方については大人たちが相当注意していく必要があるということです。もはや、「うちの子は大丈夫」が通じる世界ではないのかもしれません。

今年度最後の授業参観お世話になりました

お忙しい中、2月4日（水）に行われた授業参観及び学級懇談会にご参加いただき、ありがとうございました。各クラスでの授業はいかがだったでしょうか。やはり保護者の皆様の目があるためか、子供たちもやや緊張した面持ちで授業に臨んでいるように見えました。

6年生は、親子でレクリエーションをしたり、感謝の言葉を述べたりする「卒業の集い」が行われました。6年間のお子様の思い、伝わったでしょうか。

6年生は、あと1か月半で卒業となります。もう2度と戻ることのない残された小学校での生活を、一日一日大切にしていくほしいと思います。そして、よい卒業式を迎えられたらと思います。



（文責 校長）